

学位プログラム：生物工学 カリキュラムマップ（工学研究科生物工学専攻）

教育目標		博士前期課程学習目標				博士前期課程				博士後期課程学習目標				博士後期課程							
最先端かつ高度な授業	高度なデザイン力	1年				2年				1年				2年				3年			
		春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
○	○	人類社会の安定と福利に広く貢献できる豊かな人格と教養、倫理観を身につけている。自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。				人類社会の安定と福利に広く貢献できる豊かな人格と教養、高度な倫理観を身につけている。・自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から高度に理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。				人類社会の安定と福利に広く貢献できる豊かな人格と教養、高度な倫理観を身につけている。・自然現象を原子・分子レベルのミクロな立場から高度に理解し、基本的なメカニズムを幅広い視野に立って工学的に応用することができる。											
○	○	物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、工学的に応用することができる。				物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、工学的に応用することができる。				物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、工学的に応用することができる。											
○	○	・生物工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。				・生物工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより国際社会に発信することができる。				・生物工学（バイオテクノロジー）分野のグローバルリーダーとして人類社会の安定と福利に広く貢献するために、生物工学によって生み出された物質・技術を、高い英語力、自己表現能力により、国際科学誌への掲載、国際学会での発表などにより高度に国際社会にて発信することができる。											
○	○	遺伝子から生態に至るまでの生物科学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、工学的に応用することができる。				遺伝子から生態に至るまでの生物科学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、工学的に応用することができる。				遺伝子から生態に至るまでの生物科学の基礎的知識を体系的に理解し、工学的に応用することができる。物理学、化学、生物学、化学工学、情報科学の幅広くかつ深い理解のもと、様々な生物のもつ本質的なシステムとその動作原理を理解し、新たな分野を開拓・展開し、工学的に高度に応用することができる。											
○	○	・生物工学分野の工学的体系化と応用を通して、他分野との連携・協働をおこなない、最先端バイオテクノロジーに応用することができる。 ・生物工学分野について、自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに発展させることができる。				研究指導				・生物工学分野の工学的体系化と応用を通して、他分野との連携・協働をおこなない、最先端バイオテクノロジーに高度に応用することができる。 ・生物工学分野について自ら設定した課題について、研究手法をデザインし、さらに高度に発展させることができる。											

高度教養教育科目
専門教育科目
専門教育科目＋高度国際性涵養教育科
高度国際性涵養教育科目